

<p>【教材・教具名】 鯉のぼりトンネル（真鯉・緋鯉）</p>	<p>【教科・領域】 遊びの指導、生活単元学習</p>
	<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボール ・ボンド ・ひも ・装飾用の紙、絵の具、児童の手形
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら活動しようとする意欲を育てる。 ・身体の動かし方を知る。 ・楽しんで活動しようとする。 	
<p>○使用方法</p> <p>① 児童の実態によって、トンネルの長さを調整する。</p> <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がトンネルを通ったときに倒れないようにした。 ・トンネルの長さが調整できるように、連結式にした。 ・空き箱を半分に切ったものと、ほかの段ボールを側面につないで高さを出した。 ・長さや高さの違い、二種類のトンネルをつくった。 ・装飾に、児童の手形を使用し、目は児童が描いた。 	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンネルの底が平らであることで、児童が活動しやすい。 ・支えなしで自立するように制作したことで、人手が省ける。 ・連結部分を離して設置することで、距離が調節できる。 ・二種類のトンネルを用意することで、児童が選択できた。 ・装飾をしたことで、トンネルに興味をもてた。 	
<p>○参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	